

特別支援学級 生活単元の時間指導案

指導者

1. 題材 「大きくなあれ おいしくなあれ」

2. 指導にあたって
 こんな子どもだから

毎年、生活単元の時間に、きゅうり・トマト・なす・ピーマンなどの野菜を育てて、収穫の喜びを味わうという経験をしてきている。1学期には畑の先生たち（地域の老人クラブの方々）を招き、いろんな野菜を育てて、たくさん収穫することができた。（題材）
 自分が体験したことは、簡単な文章に書き、それを友だちの前で読んで発表することはできる。聞いてもらうことをとてもうれしそうにしており、自分の思いを伝えることができる。（体験・伝え合う活動）
 作業や活動をしているときは、友だちとかかわろうとする姿が見られる。昨年は、1年生を招待し、自分たちで作ったジャンボすごろくと一緒に楽しく遊ぶことができた。1学期は、野菜作りを教わるために、畑の先生たちに何度も来てもらい、だんだんとうち解け、楽しく会話をすることができるようになってきた。（人とのかかわり）

こんな教材で

畑の先生たちと一緒に野菜作りを行い、その野菜を使った料理を作ったり、「かるた」を作ったりする活動を行う。
 身近な地域の方とのかかわりであるため、いつでもインタビューすることができ、意欲が継続しやすい。
 野菜作りの苦労や知恵を畑の先生たちとのかかわりを通して学ぶことができる。
 野菜を植え、育てることで収穫の喜びを味わうことができるとともに、自分にもできるという自信をもたせることができる。
 野菜作りの活動のすべてを「かるた」にしてまとめることで、どの子も楽しみながら活動できる。
 一緒に野菜作りをしたり、「かるた」で遊んだりすることによって、畑の先生たちや公民館の方々など地域の方にも、たんぼぼ学級の子どものことを知ってもらうことができる。

こんな手立てを（人とのかかわりは）

つかむ	大きくておいしい野菜がたくさん採れるためには、どうすればいいのかを考えさせるために、今年の野菜作りの活動を想起させる。 友だちと育てたい野菜や育て方について考えを出し合う。
さぐる	楽しく活動し、大きな野菜を育てるために、畑の先生たちにわからないことを聞かせながら一緒に活動させる。 水やり、草取りなどのお世話を一緒にする。 収穫を祝って、畑の先生たちと一緒に、ミニ交流会をする。 採れた野菜を使って、畑の先生たちと一緒に簡単な調理をして食べる。
ひろげる	野菜作りの楽しかった活動をふり返らせるために、『はたけからのおくりものかるた』を作らせる。 『はたけからのおくりものかるた』で、畑の先生たちと一緒に遊ぶ。

3. 目標

興味・関心・意欲（価値的・態度的側面）

・野菜の変化や成長の様子に関心をもち、進んで世話をすることができる。

伝え合う活動（技能的側面）

・ミニ交流会、野菜の調理、かるた作りの時などに、自分の考えを発表したり、友だちの発表を聞いたりすることができる。

気づき（知識的側面）（価値的・態度的側面）

・畑の先生たちと様々な活動をするによって、その知恵や思いを知ることができる。

・調理やかかるた作りなどを通して、自分にもできたという達成感を味わうことができる。

人とのかかわり（技能的側面）

・野菜作り，ミニ交流会，調理，かるた遊びなどの時，畑の先生たちと一緒に言葉をかわしながら，活動することができる。

4. 学習計画（43時間）

自己存在感を持たせる支援 **自己** 共感的人間関係を育成する **共感** 自己選択・決定の場の工夫 **選決**

段階	時間	学 習 活 動	人とのかかわり	指導・支援 は個別の支援	評 価
つ か む	1	<p>1. 昨年までの野菜作りの活動をふり返り，これからの野菜作りの計画をたてる。</p> <p>・去年は，採れた野菜を家にもって帰ったね。</p> <p>・ぼくは，きゅうりを育てたいな。</p> <p>大きくておいしいやさいをつくり，はたけの先生たちともっとなかよくなる。</p>	<p>一人一人，覚えていることやこれから育てたい野菜について意見を出し合う。</p>	<p>意見が出やすいように，野菜の本を用意しておく。</p> <p>自己</p> <p>学習課題をもたせるために，これまでの野菜作りの写真を掲示しておく。</p> <p>選決</p>	<p>育てたい野菜の名前を発表することができる。</p> <p>（価値的・態度的側面）</p>
さ ぐ る	20	<p>2. 畑の先生たちと出会い，一緒に苗を植える。お互いに自己紹介をする。</p> <p>ミニトマト，きゅうり，なす，ピーマンの苗を植える。</p> <p>水やりをする。</p> <p>3. 週1回，野菜の世話を畑の先生たちと一緒にしたり，野菜が採れた時は，販売したりする。</p> <p>（1）水やり，草取り，支柱たてなどのお世話を週に1度一緒に行う。</p> <p>・草がのびてきたね。</p> <p>・もうすぐ，トマトが赤くなりそうね。</p> <p>・きゅうりのつるがのびてきたよ。</p>	<p>畑の先生たちと話をしながら，苗を植える。</p> <p>畑の先生たちと野菜の世話をす。</p>	<p>児童一人一人の実態やかかわり方などを，畑の先生たちに理解してもらうために，事前に細かい打ち合わせしておく。</p> <p>共感</p> <p>子どもたちにできることはさせて，必要なときには手助けしてもらうように話をしておく。</p> <p>共感</p> <p>けがをしないように安全に留意し，注意事項を確認する。</p> <p>選決</p> <p>畑の先生たちの健康にも留意し，顔色などに気をつける。</p> <p>共感</p> <p>作業への意欲が持続しない子には，声をかける。</p>	<p>畑の先生たちと苗を植えることができる。</p> <p>（技能的側面）</p> <p>畑の先生たちの素晴らしさに，気づくことができる。</p> <p>（価値的・態度的側面）</p>

	(2)大きくなった野菜を公民館や職員室で販売する。 <ul style="list-style-type: none"> ・全部売れるといいな ・どんな人が買ってくれたのかな。 ・たまったお金はどうしようか。 	公民館の館長さんや先生方をお願いして、野菜を販売する。	野菜の販売がスムーズにいくように、公民館の館長さんや校長先生には、事前をお願いしておく。 共感 どんな売り方をすればいいか考えさせる。 選決 お金の大切さをわからせるために、お金の取り扱い方を指導しておく。 共感	公民館や職員室前では、積極的に野菜を売るための言葉を発することができる。 (技能的側面)
さ	2 4. さつまいもの苗を植えるために畑の手入れをし、準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・野菜とちがって、いもはこんなふうに、うねを作るんだな。 	友だちや畑の先生たちと草取りをしたり、うね作りをしたりする。	畑の先生たちとふれ合うように、一人一人声をかける。 共感	畑の先生たちの素晴らしさに気づくことができる。 (価値的・態度的側面)
	1 5. さつまいもの苗を、畑の先生たちと一緒に植える。 <ul style="list-style-type: none"> ・なえは、ねせるようにして植えるんだね。 ・おいもは、たくさんとれるかな。 	さつまいもの苗を畑の先生と一緒に植える。	うねの作り方や苗の植え方について、畑の先生たちと綿密に連絡をとっておく。 選決	畑の先生たちの素晴らしさに気づくことができる。 (価値的・態度的側面)
ぐ	2 6. ミニ交流会の計画をたてる。	友だちと協力しながら考える。	子どもたちに相手意識をもたせるために、畑の先生たちに、喜んでもらえるような内容を考えさせる。 選決	どんなことをすれば、畑の先生たちに喜んでもらえるかを考えることができる。 (価値的・態度的側面)
	る 2 7. 野菜の収益で畑の先生とミニ交流会をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーを聴いてほしいな。 ・手遊び歌もいいね。 ・ペットボトルでボーリングをしようか。 ・いっしょにおかしを食べたいな。 	畑の先生たちをたんぼぼの教室に招いて、いっしょに遊んだり、お菓子を食べたりしてふれ合う。	畑の先生たちには、前もってプログラムを渡しておき、一緒に楽しんでもらうようにする。 共感	畑の先生たちと遊んだり、お菓子を食べたりして、楽しく過ごすことができる。 (技能的側面)
る 2 8. さつまいもを収穫し、この後の計画をたてる。 <ul style="list-style-type: none"> ・すごい！こんなに大 	畑の先生たちや友だちと協力しながら、さつまいもを収穫し、採れたさつまい	さつまいもでどんなことができるか、一人一人に考えさせるように声かけをしていく。	さつまいもでどんなことがしたいか、自分の考えを発表したり、友	

		<p>きくなったね。 ・どうやって食べようか。</p>	<p>もでどんなことができるかを話し合う。</p>	<p>子どもたちの考えが出やすいように、教師もあらかじめ考えておき、ヒントを与える。 選決</p> <p>調理方法については、事前に子どもたちに説明しておく。 自己</p> <p>安全面・衛生面などについては、しっかり指導する。 選決</p>	<p>たちの意見を聞いたりすることができる。</p> <p>(技能的側面)</p> <p>畑の先生たちや友だちのよさに気づくことができる。</p> <p>(価値的・態度的側面)</p>
ひ ろ げ る	2	<p>9. 畑の先生たちと一緒にさつまいもを調理して食べる。</p> <p>・ さんに切り方を教えて、上手に切れたよ。</p> <p>・ は、一緒に食べるとおいしいね。</p>	<p>畑の先生たちや友だちと協力しながらさつまいもの料理を作って食べる。</p>		
	7	<p>10. 野菜作りの活動をふり返り、『はたけからのおくりものかるた』を作る。</p> <p>・「あ」つい日も毎日水やりごころうさん。</p> <p>・「さ」わたたらきゅうりのちくちくいたかった。 など</p>	<p>友だちと協力しながらかるた作りの活動をする。</p>	<p>かるた作りの意欲を持たせるために、これまでの活動を思い出せるような写真や絵をはる。 自己</p> <p>絵札、読み札に畑の先生たちと一緒に活動してきたことを取り入れた「かるた」にさせる。 選決</p> <p>文作りが苦手な子どもには、今までの活動を思い出し、一緒に文を考える。</p>	<p>自分のよさや友だちのよさをみつけている。</p> <p>(価値的・態度的側面)</p> <p>友だちと協力しながら「かるた」を作ることができる。</p> <p>(技能的側面)</p>
	1 本 時	<p>11. 畑の先生たちと一緒に『はたけのおくりものかるた』で楽しく遊ぶ。</p>	<p>畑の先生たちや友だちと楽しく「かるた」で遊ぶ。</p>	<p>自分に自信をもたせるために、読み札をスムーズに読む練習を前もってさせておく。 共感</p>	<p>畑の先生たちや友だちと楽しく「かるた」で遊ぶことができる。</p> <p>(技能的側面)</p>
	1	<p>12. お世話になった畑の先生たちにお礼の手紙を書く。</p> <p>・ 先生と一緒においもパーティをして、うれしかったです。また、一緒に野菜を作ってください。</p>	<p>お世話になった方たちのことを思いうかべながら、手紙のことについて話し合う。</p>	<p>今までの活動を思い出しやすいように、写真や絵を準備する。 選決</p>	<p>お礼の気持ちをあらわす内容の手紙を書くことができる。</p> <p>(価値的・態度的側面)</p>

特別支援学級 本時学習指導案

指導者

5. 本時 平成 年 月 日 () 第 校時 場所 学級

6. 本時について

目標

<p>興味・関心・意欲（価値的・態度的側面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで作った「かるた」で、畑の先生たちや友だちと楽しく遊ぶことができる。 <p>気づき（価値的・態度的側面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かるた」で遊ぶことで、自分のよさ、友だちのよさ、畑の先生たちのよさに気づくことができる。 <p>人とのかわり（技能的側面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑の先生たちに声をかけながら、活動することができる。
--

個別の目標と支援

	目 標	支 援
A 児		<ul style="list-style-type: none"> ・「かるた」を取れなくて、途中で投げ出さないように声かけをし、励まし応援する。 ・「めあて」や「まとめ」を書く時には、そばについて、A児が話したことを教師が書き、それを手本に自分で書かせる。また、発表する時には、書いたことと少しちがっても、自分の言葉で話すことを認めるようにする。
B 児		<ul style="list-style-type: none"> ・聞き間違えないように、読み手が読むのをよく聞くように声かけをする。 ・書いたものを発表する時、安心して読めるように、そばについておき、つまった時には、一緒に読む。
C 児		<ul style="list-style-type: none"> ・聞き間違えないように、読み手が読むのをよく聞くように声かけをする。 ・書いたものを発表する時、安心して読めるように、そばについておき、つまった時には、一緒に読む。
D 児		<ul style="list-style-type: none"> ・あわてず最後までしっかり聞いて、間違えないで「かるた」をとるように声かけをする。 ・発表する前に、自分で書いた文を読み返すように声かけをして、小さな声で読む練習をさせておく。
E 児		<ul style="list-style-type: none"> ・途中で飽きるようなことがあったら、最上級生として、楽しく学習に参加するように声かけをする。 ・発表する前に自分で書いた文を読み返させたり、聞いてあげたりして、自信をつけさせておく。

前時まで

前時まで、いろいろな体験活動の
ことを取り入れたかるた作り
を行い、早く畑の先生と一緒に
「かるた」をしたいなという意
欲をもっている。
読み札をスムーズに読めるよう
に練習している。

本時の手立て

活動がしやすいように場作りを行っておく。
取った「かるた」の数が少ない子どもが悲しい
思いをしないように、取った数を競うのではな
いことを始めに話したり、ルールを決めておい
たりする。
みんなが見やすいように絵札の置き方に気をつ
けさせる。

7. 準備

- 教師 『はたけからのおくりものかるた』
- 児童 学習プリント

8. 展 開

自己存在感を持たせる支援 **自己** 共感的人間関係を育成する支援 **共感** 自己選択・決定の場の工夫 **選決**

学 習 活 動	人とのかかわり	指導と支援 は個別の支援	評 価
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はたけの先生たちといっしょにたのしくかるたをしてあそぼう。</p> </div>	<p>教師の話をし っかり聞く。</p>	<p>めあてを意識させるた めに声に出して読ませ る。 自己</p>	
<p>2. 畑の先生たちにあいさつをする。</p>		<p>いっしょに遊ぶ畑の先 生たちを、子どもたち に紹介する。 共感 楽しく「かるた」がで きるように机の位置を ずらしておき、場作り を行う。 自己 みんなが楽しめるよう に約束を確認する。 自己 『聞き方あいうえお』 や『話し方あいうえお』 に注目させ、意識して 話したり聞いたりさせ る。 自己</p>	
<p>3. 楽しい雰囲気です学習が始められ るように、歌を歌う。</p>	<p>畑の先生たち と一緒に、歌 を歌う。</p>	<p>教師が率先して声を出 し、楽しく和やかな雰 囲気になるように、一 緒に歌う。 共感</p>	<p>楽しく歌を 歌っている。 (技能的側面)</p>

<p>4. 今日がんばることを発表する。</p>	<p>友だちの話を聞いたり発表したりする。</p>	<p>『聞き方あいうえお』や『話し方あいうえお』に注目させ、意識して話したりきいたりさせる。 自己 言葉につまった子どもには、安心するように、そばに立ってアドバイスをする。</p>	
<p>5. 『はたけからのおくりものかるた』をする。 ルールを説明する。 活動をする。</p>	<p>みんなで楽しく「かるた」をする。</p>	<p>読む子どもを交代させて、みんなに経験させる。 共感 「かるた」がとれない子どもには、声をかけながらはげましている。</p>	<p>友だちや畑の先生たちと楽しく活動している。 (技能的側面)</p>
<p>6. 今日の学習のふり返しをする。 一人一人、自分のはじめのめあてについてふり返ったり、楽しかったことを発表したりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんかるたがとれてうれしかった。 ・畑の先生たちとかるたができてうれしかった。 </div>	<p>友だちの話を聞いたり、発表したりする。</p>		